

令和6年度社会福祉法人葵寮事業報告

1 法人運営状況について

令和6年度は、中長期事業計画（5か年計画）の最終年度ということで、第三者評価事業を受審しこれまでの事業の総括した上で、令和7年度以降の中長期事業計画に向けての法人運営の方針を定めた。

第三者評価事業については、各項目の評価結果が、a評価:33、b評価:26、c評価:3(令和2年度は、a評価:19、b評価:38、c評価:6)となり、目標値（b評価以上を80%以上取得）を達成できた。特に、経営面・運営面共に各項目の評価が令和2年度よりも上昇している。

また、令和7年度以降の中長期事業計画については、現状把握を可能な限り数値化して緻密に行うことで、将来の経営状況や運営状況の変化を予測して新しいサービスを取り入れる等、事業の長期的な持続性を向上させることに重点を置いている。特に、令和6年度から物価高騰が顕著になり、今後長期的にこの流れが続く可能性があるため、費用削減や資金使途を明確にして無駄のない財務運営が必要になると共に、利用者の入れ替わり（世代交代）や職員の高齢化についても対応していかなくてはならない。

これに対する施策として、新たに作成する社会福祉充実計画として令和7年度から10年計画で実施していく予定であり将来に渡る事業継続の布石としていきたい。

1 会議

理事会：

日時：2024/6/4

議題：令和5年度社会福祉法人葵寮事業報告、葵寮決算及び資金運用状況、人件費積立金取崩、定款の一部改正、経理規程の一部改正、資金運用規程の一部改正、資金運用責任者の選任、令和6年度資金運用計画、評議員選任・解任委員の選任、評議員会（第1回）の開催

日時：2024/10/28

議題：令和6年度 補正予算案、ソーラーパネル設置に関する入札実施について、評議員会（第2回）の開催

日時：2024/12/4

議題：葵寮 太陽光パネル設置工事（決議の省略）

日時：2025/3/17

議題：令和6年度 補正予算案、施設整備積立金等の取崩の変更、令和7～11年度 中長期事業計画案、令和7年度 事業計画案、令和7年度 予算案、施設整備積立金等の取崩、資金運用計画、給食業務委託契約、育児・介護休業等に関する規則の一部改正、施設長の選任、令和6年度評議員会（第3回）の開催

評議員会：

日時：2024/6/19

議題：令和5年度社会福祉法人葵寮決算及び資金運用状況、人件費積立金取崩、定款の一部改正

日時：2024/11/5

議題：令和6年度 補正予算案

日時：2025/3/26

議題：令和6年度 補正予算案、施設整備積立金等の取崩の変更、令和7～11年度 中長期事業計画案、令和7年度 事業計画案、予算案、施設整備積立金等の取崩、給食業務委託契約

2 監事監査

第1回 2024/5/20 監査対象期間：令和5年12月～令和6年3月及び令和5年度決算

第2回 2024/10/14 監査対象期間：4月～7月

第3回 2024/2/5 監査対象期間：8月～11月

3 苦情解決第三者委員会

第1回 令和6年4月 葵 寮：34

清流荘：7

第2回 令和6年11月 葵 寮：46

清流荘：12

4 社会福祉充実計画

令和6年度の実施状況

No	計画・件名	実施月	支出額	備考
1	会議室プロジェクター	5	1,187,450	
2	天井材貼り替え(カビ対策用)	11	2,948,000	
3	ソーラパネル設置	12	12,166,000	設計込726000
4	あおいの家状況調査	2	279,400	
5	利用者用Wifi設置	2	984,500	
6	人員増強	通年	3,779,818	
	合計		21,345,168	取崩額21,300,000

計画達成状況	実施期間	使用額	
	R3-R7	76,592,000	

5 地域における公益的な取り組み

令和6年度の状況

実施内容：福祉相談事業（電話での福祉相談） 件数：0

レクリエーション等地域共有事業 件数：2

2 救護施設運営状況について

葵寮は、生活保護法第38条の規定に基づき、身体上又は精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な要保護者を福祉事務所の措置により入所させて、生活扶助を行うことを目的とする救護施設であるが、近年は、セーフティーネットとしての機能を果たすべく、障害者だけでなく、ホームレス、DV被害者、触法者など地域において生活することが困難な者なども幅広く受け入れをしている。

また、利用者の自立の助長を図るため、利用者個人の意向をできる限り尊重し、健康で安全な生活ができるよう支援を行っている。

令和6年度の実施状況は次のとおりである。

1 利用者の状況 R7.3.31 現在

(1) 保護実施機関別利用者数 (人)

	袋井市	島田市	藤枝市	三島市	焼津市	静岡市			富士市	富士宮市	沼津市	御殿場市	牧之原市	伊豆市	伊東市	県賀茂	その他	浜松市	計	
						葵区	駿河区	清水区												
男	0	8	1	2	4	11	4	5	1	1	3	0	1	1	1	1	1	1	1	46
女	1	5	1	1	1	14	6	3	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	38
計	1	13	2	3	5	25	10	8	2	2	4	1	1	2	1	1	1	2	2	84

(2) 年齢別構成 (人)

	40才未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	才	計	人
男	0	4	13	16	11	2		46	
女	4	2	5	11	13	3		38	
計	4	6	18	27	24	5		84	

平均年齢63.9才 (男 63.7 女 64.1)

最高 男94才 女91才 最低 男40才 女32才

(3) 入所期間別構成 (人)

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計	人
男	20	13	5	5	3	46	
女	9	10	8	2	9	38	
計	29	23	13	7	12	84	

平均入所期間 12年2ヶ月 最長入所期間 57年10ヶ月

(4) 障害別構成

(人)

	知的障害	精神障害	身体障害	精神障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	身体障害	障害精神障害	身体障害知的	その他	計人
男	5	32	1	3	1	0	0	0	0	0	0	4	46
女	8	17	0	10	1	1	0	0	0	0	0	1	38
計	13	49	1	13	2	1	0	0	0	0	0	5	84

(5) 月別利用状況（1日付）

※（ ）は1日付入所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計人
初日在所者数	84	84	83	82	81	81	81	(80)	81	81	81	82	
入 所								2		1	2	2	7
退 所	入 院												
	他施設		1	1	1								3
	社会復帰												
	無断退所							(1)					1
	死 亡							1		1	1		3

(6) 一時入所施設入所の体験利用として一時入所の受け入れを行った。

利用者 1名 1回 延利用日数 9日

2 処遇の状況

(1) 集団支援

集団生活を送るため、起床から就寝まで最小限度の日課を定め、生活に必要な当番、作業、レクリエーション、リハビリ等の活動メニューを用意して、各人が生活意欲をもって過ごせるよう支援した。

(2) 個別支援

利用者ごとに希望要望を取り入れた支援計画を作成し支援を実施している。状況の変化に対応するためモニタリングを行い、常に利用者の立場に立った支援に心掛けた。

(3) 就労自立支援

障害の程度や利用者の特性に合わせて複数の作業から選択して内職作業を行った。

新型コロナウイルスの影響で外勤に向けてのハローワーク、障害者職業センター等を利用する支援はできなかった。

(4) 地域移行支援

施設において自立に向けた訓練を行うとともに、訓練用住居にて、より居宅生活に近い環境で実体

験的に生活訓練を行うことにより地域への移行を支援した。令和6年度は2名が参加し、1名グループホームに移行した。

(5) 地域生活定着支援

地域へ移行した利用者に対しては、居住先を定期的に訪問し必要なフォローを行うことで地域生活が定着するよう支援した。

(6) 食事・栄養サービス

個々の身体的状況に応じた食事内容、病状に対応した食事内容の提供を実施した。

食事をとおして正しい食習慣を身につけ生活習慣病の予防に努めた。

食事は嗜好を配慮し、季節を感じる行事食を取り入れた。

食事をとおした楽しみとして定期的に自己選択できる選択食を実施した。

(7) 健康管理

集団生活をするうえで特に留意する必要がある感染性の疾患については、予防衛生に重点を置き、また年2回の定期健康診断のほか、嘱託医あるいは専門医による検診を随時行い、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

(8) 環境衛生支援

明るく清潔で、静かな生活の場を提供し、衣服、寝具等も常に清潔を保ち、健康の保持と感染症の予防に努め、快適な環境づくりを進めた。

(9) 家族交流支援

両親、兄弟など家族のある者については、家族との連携を深めるため、利用者の日常動作、健康状態、近況、総合意見等生活状況を6月毎に報告した。家族からの希望により、面会、外出、外泊を行った。

(10) 健康維持・衛生支援

日常活動の行事とし実施している、毎日のラジオ体操と、日に2回の散歩を体力別に3グループに分けて行った。また、運動療法を外部専門家により実施し、心身の健康増進に努めた。入浴は毎週3回行い、希望者はユニットバスを利用し、個別入浴を行うことにより自立を促した。

(11) 教養娯楽活動

情操を豊かにし、運動不足の解消を図るため、施設内で毎週定期的にクラブ活動を行い、ダンスステップやヨガを体験した。また、住職による説法や写経、年数回の選択レクリエーション、カラオケ等を通じて心にゆとりのある生活ができるよう、教養娯楽の機会を設けた。

(12) 施設機能の開放

施設の設備・機能の開放や、地域住民や学校等との交流を随時行った。

実習生の受け入れ2名あり。

(13) 金銭管理

金銭及び貴重品は、1Fダイルームにある個人金庫にて管理をし、自己管理が可能な方は自分用の鍵を持ち、自己管理が難しい方は職員の方でまとめて管理を行った。出来る方に関しては、自分で外出

し銀行にて自分で入出金を行った。

(14) 喫煙

喫煙は決められた時間・場所でマナーを守って行った。

(15) 外出・外泊支援

個人で出かける自由外出、職員が引率するグループ外出、担当職員と出かける担当外出と、本人の状況に応じて種類を分け実施した。個人での外出はコロナ前の状況に戻し、行先や時間に関しても幅を広げ実施した。近距離で購入できない必要物品に関しては職員が同行して購入した。家族との外出、外泊に関しても希望に沿って随時行った。

(16) 通院・デイケア

定期通院は職員付き添いのもと行った。デイケアは対象者が不在。今後希望者が出た所で再開する。

3 その他

(1) 防災訓練の実施

① 総合防火訓練

年2回、施設内出火の想定で、自衛訓練を実施。避難誘導訓練のほか機材等の点検整備を行った。(4月・11月) また、職員の手薄な夜間にも対応できるよう夜間訓練を行った。(7月)

② 総合防災訓練

簡易トイレ確認、非常食・非常袋・医薬品・発電機作動の確認を行った。(9月・3月)

③ 水防訓練

洪水時の避難確保計画に基づき、利用者の避難誘導訓練を行った。(6月)

④ BCP訓練

災害時に向けた職員の動線や利用者処遇面と環境整備などのシミュレーションを行った。(3月)

(2) 利用者との対話会等

- ・ 利用者の要望、意見を支援に反映させるため、毎月面接相談を実施した。
- ・ 利用者全体での対話会を年2回実施した。(※苦情解決第三者委員出席)

(3) 職員研修

- ・ 職員の資質向上を図るため、施設内研修を実施するとともに、外部で実施される研修会にも可能な限り参加した。
- ・ 施設内研修
新任研修 消毒剤について 他、外部研修会を受けての内部研修会
- ・ 外部開催研修参加 8回(リモート会議含む) 延べ参加者13人

(4) 施設設備整備等

第1号議案の社会福祉充実計画の実施状況のとおり

(5) 慰問・奉仕等の状況

実施時期	慰問者等の住所氏名	慰問等の内容
6/8	静岡英和女学院中学校・高等学校	歌
12/7	静岡英和女学院中学校・高等学校	クリスマス訪問・歌
12/12	雙葉学園高等学校・中学校	クリスマス訪問・歌

(6) 物品寄贈

時期	寄贈者等の氏名	寄贈等の内容
6/4	理事長 斯波幹和様	飲料水
6/8	静岡英和女学院中学校・高等学校	生花
12/7	静岡英和女学院中学校・高等学校	寄付金 クリスマスカード
12/12	静岡雙葉中学校・高等学校	寄付金

令和6年度 社会福祉法人葵寮事業報告 付属明細

該当事項なし